

# トムス カローラスポーツ リヤバンパーディフューザー

このたびはトムス リヤバンパーディフューザー(以下ディフューザー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。  
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

**適応車種** 本製品は以下の車種に対応しています。(2018年12月)

トヨタ カローラスポーツ ZWE211/NRE210 平成30年6月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。トムスパレルマフラーNo. 17100-TZE2#との同時装着が必要です。

**取り付け上のご注意** 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- ディフューザー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- ディフューザー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。  
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。  
ディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- 塗装に際しては以下の点にご注意ください。  
(詳しくは「リヤバンパーディフューザー素地品の塗装手順」を参照の事)  
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
- 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
- 両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。  
両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- ディフューザー装着により、標準リヤバンパーより、地上高約-28mm低くなります。
- 本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

**構成部品** 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

## 【リヤバンパーディフューザー 構成部品】



- ①リヤバンパーディフューザー x1
- ②パックプライマー x1
- ③両面テープ (0.8x1.0x2M) x1
- ④ボルト (M6x15) x6
- ⑤フランジナット (M6) x6
- ⑥平ワッシャー (1.6x6.5x20) x2
- ⑦クッションテープ x1

## 取付要領



- 1.車両のクロムメッキ加飾部分を取り外す。  
(G'Zグレード)  
詳細はトヨタ自動車(株)発行「整備要領書」を参考に  
にする。  
その他グレードはロアカバーを外し、左図参照に  
溝に沿ってリヤバンパーをカットする。



カットライン



助手席側

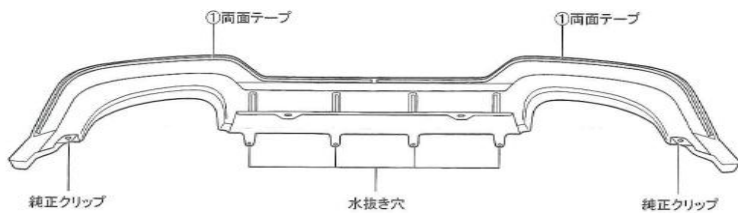


運転席側



純正クリップ位置

【リアディフューザー 裏側】

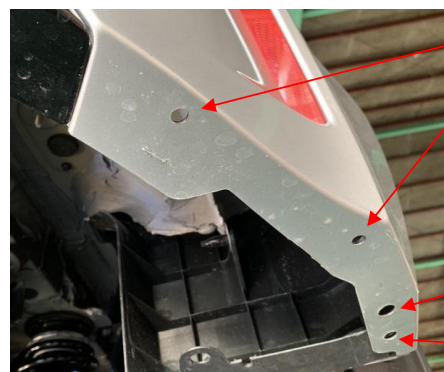
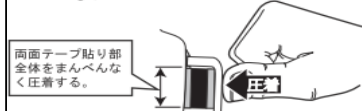


マーキング位置



両面テープ離型紙引き抜き方向

両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度〔49N (5kgf/cm<sup>2</sup>)〕で行なう。



穴開け箇所

純正クリップ取り外し

純正クリップ取り外し(再利用)

取り外したロアカバーを純正バンパーに取り付ける。

2.①ディフューザーに③両面テープを貼り付ける (左図参照)

**注意！**

①ディフューザーの両面テープ貼り付け箇所を脱脂し、②パッキンプライマーを塗布すること。

**注意！**

装着時に両面テープが見えないよう①ディフューザー端末から3m程あけて貼り付ける。

**注意！**

プライマー使用に際しては、3M PACプライマー K500取扱説明書に従い使用する。  
乾燥の標準状態: 23°Cで10分~3時間ほこり。汚れ  
水滴が付着しないように十分に乾燥させる。  
気温15°C以下では、加熱器を使用して温める。  
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

3.①ディフューザーを純正クリップを使用して車両に仮合わせをし、両面テープ貼り付け位置をマスキングテープ等でマーキングをする。

**アドバイス！**

養生テープ、ガムテープを使用すると作業がしやすい。

**注意！**

マーキングが正しく行われないとディフューザーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。

5.①ディフューザーを取り外し、両面テープ接着面を脱脂、②プライマー塗布をする。

6.①ディフューザーの両面テープ離型紙を50mm程剥がし、純正クリップを使用しマーキング位置に合わせ取り付ける。両面テープが面当たりしている事を確認した後、両面テープ離型紙を車両中央から外側へ向け圧着しながら引き抜く。

**注意！**

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディーにつかないように気を付けて作業をおこなう。

7.車両の純正クリップを取り外し、サイドフィンを取外しを左図参照に穴あけ箇所をマーキングをする。

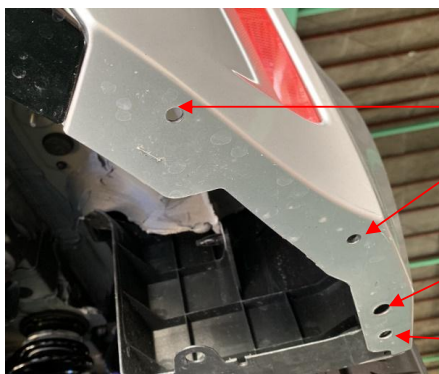
マーキングを終えたらサイドフィンを外し、6.5Φドリルで穴あけをする。



⑦クッションテープ

8.サイドフィンとディフューザーの接する面に、  
⑦のクッションテープを貼り付ける。

※クッションテープは潰れてはみ出す事があります。  
状態に応じてカットしてください。



④.⑤.ボルト、ナットを使用

④.⑤.⑥ボルト、ナット、ワッシャーを使用

純正クリップ

9.サイドフィンを上図参照に④、⑤、⑥のボルト、  
ナット、ワッシャー、純正クリップを使用し取り付けをする。





# リヤバンパーディフューザー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

**塗装後のクレームには応じません。**

## 構成部品

- ①リヤバンパーディフューザー x1
- ②バックプライマー x1
- ③両面テープ (0.8x1.0x2M) x1
- ④ボルト (M6x15) x6
- ⑤フランジナット (M6) x6
- ⑥平ワッシャー (1.6x6.5x20) x2
- ⑦クッションテープ x1

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

### I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

#### 注意！

本製品はFRP製品のため適切な塗料を使用する。

#### 注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。



サイドフィンボディ色

リヤバンパーディフューザー センター部位はフラットブラック

サイドフィンボディ色